

講義名	日本語D（話す）			授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

この授業は、留学生を対象とし、「話す」スキルに重点を置く。大学生活において必要なプレゼンテーションやディスカッションなどの活動を通して、伝達能力やコミュニケーション能力の養成をする。

### 到達目標

- ・プレゼンテーションやディスカッションなど大学生に必要な技能を身につける。
- ・自分の言いたいことを自分の言葉で伝えるようになる。
- ・聞き手を意識しながら内容を調整したり整理して伝えられるようになる。
- ・他の学生の意見を聞くことにより、多様な価値観を認めることができるようになる。

### 提出課題

課題や準備など授業中に指示する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に全体に対して、もしくは個別にフィードバックを行う。

### 評価の基準

授業態度および参加度 30%  
授業内のパフォーマンスの総点 30%  
最終発表 20%  
課題および提出物 20%

### 履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とする。  
全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位の認定ができない。  
連続3回で回の欠席となる。  
15分以上の遅刻は欠席となる。  
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

### 教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

### 参考図書

.アカデミックプレゼンテーション入門.	三浦書田ほか	ひつじ書房	2420	9784894763371
.日本語上級話者への選.	萩原雅佳子ほか	スリーエーネットワーク	2420	9784883193554

### その他

授業中にプリントや資料を配布する。

### 授業計画

1. 授業オリエンテーション（授業の進め方・スケジュール・評価方法など）、自己紹介
2. 自分をアピールする
3. 自分をアピールする
4. 自分をアピールする
5. 写真でトーク
6. 写真でトーク
7. 私の故郷
8. 私の故郷
9. 私の故郷
10. 私の故郷
11. ディスカッション
12. インターネットビジネス
13. インターネットビジネス
14. 最終発表
15. 最終発表

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】 読書や表現の意味を調べる。発表に向けた準備と練習をする。・・・2時間  
【復習】 自分のパフォーマンスの振り返り。また、他の学生の発表を聞いて、印象に残った言葉や今後使いたい表現について書く。・・・2時間

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、現実社会の様々なテーマに取り組み、コミュニケーション能力を向上させることによって、課題を解決し、修得した知識や技術を実践することができる人材を育成する科目である。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

### 実務経験の有無及び活用

### 備考